

# あんじょう 市議会だより

第23号

平成28年2月1日(2016年)

12月定例会

## スタート

新春矢作川マラソン大会

### 主な内容

- 2頁 条例・補正予算など  
24案件を議決
- 4頁 議案などの審議結果ほか
- 5頁 一般質問のあらまし
- 8頁 行政調査報告
- 9頁 特別委員会の活動内容
- 10頁 海外行政調査報告
- 11頁 全議員研修会ほか
- 12頁 3月定例会の開催予定ほか



## 新春矢作川マラソン大会

# 条例・補正予算など24案件を議決

## 住宅開発事業の手續等に関する条例

地域との調和のとれた快適な住環境の実現に寄与するため、住宅開発事業に関する手續きその他必要な事項を定めるもの。

**問** 日進市の条例では、「近隣住民」の範囲は開発事業区域の敷地境界から50mだが、本市は15mとしているがその理由は。また、他市の条例と比べ市の関与が薄く感じるが。

**答** 知立市、みよし市の事例および指導要綱の運用を踏まえ、工事中の騒音・振動などの影響を考慮し設定した。なお、近隣住民以外の方も町内会を通じ意見書の提出ができるなど事業者と必要な意見調整が図られると考える。

また、必要な手続きを定めることが目的であるが、以前より市が関与し必要な調整を行えると考ええる。

## 福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

明祥地域複合施設の新設に伴い、当該施設を構成する福祉センター、

児童センター、支所、公民館の名称と位置並びに、福祉センターと公民館の施設の使用料などを定めるもの。

**問** 明祥福祉センターの新設に伴い、地域の方にどのようなメリットがあるのか。

**答** 明祥地域の福祉団体が、無料で活動できるスペースが確保できるようになる。また各種高齢者講座や地区社会福祉協議会主催の講演会など地域福祉の拠点施設として、地域の方に活用いただける。

センターの管理は市直営だが、センターで実施する教養講座などの事業は、社会福祉協議会に委託する。相談などに対して、より充実した対応ができるように社会福祉協議会の職員が増える予定。



建設中の明祥地域複合施設

## 工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則条例

工場立地法に基づき、同法の規定による基準に代えて適用すべき緑地面積率などに関する基準を定めるもの。

**問** 市内企業の市外流出抑制と設備投資の促進を図るため、緑地面積率などの緩和を行うとのことだが、制度設計にあたり、どのように意向把握を行ったのか。また、市役所内部でどのような検討がされたか。

**答** 商工会議所からの要望も踏まえ、市が独自に工場緑化に関する企業アンケートと市民アンケートを実施した。

企業アンケートでは、回答のあった45社のうち、10社から緑地面積率などの規制が工場の新増設や建て替えの障害との回答があり、市民アンケートでは、工場の緑地について「現行のままでもよい」または「拡大してほしい」との回答が全体の9割。市関係部署で構成される土地利用調整委員会において、緑地緩和の効果と影響を総合的に検討し、面積率は、近隣市と同程度にし、対象地域については、工業専用地域に限定することとした。

## 消防団条例及び消防団員に係る退職報奨金支給条例の一部改正

安城市消防団に機能別団員の制度を導入するもの。

**問** 平成28年4月から導入の大規模災害時に協力する機能別団員を、今後3年間で90人募集することだが、現在の応募状況は。

**答** 市内在住の消防団退職団員290人に対し、8月にアンケート調査をし、20人が機能別団員に参加意思があるとの回答で、現在、19人からの内諾がある。

**問** 機能別団員は大規模災害時における基本団員の補完であるので、あまり平常時の訓練・行事などの参加に負担がないほうが良いと考えるが、先日開催した説明会で入団を内諾した参加者からも負担が大きいとの意見があり、機能別団員の平常時の活動にあまり負担がかからないよう計画していきたい。

## 平成27年度12月補正予算

一般会計4億724万円余(注)を追加

### ■主な歳出の内容

●総務費 2170万円増／選挙管理委員会事務など

ペント報告を受け、月例ミーティングの中でチラシ、ポスターを確認。備品については、年度初めに増減などを確認している。



レジャープール(マーメイドパレス)

## 人権擁護委員の推薦

平成28年3月31日で任期満了となる白谷隆子氏の後任に引き続き同氏を推薦することについて異議ない旨答申しました。

## 請願の審査結果

●自治基本条例検証会議の内容と結果を踏まえ、自治基本条例の改定および自治基本条例逐条解説の改定を求める請願↓賛成少数で不採択

●「自治基本条例検証会議」において示された「市民の意見」に基づき、自治基本条例の改定または自治基本条例逐条解説の改定を求める請願↓賛成少数で不採択

●民生費 2億9629万円増／生活保護事業など

●衛生費 3229万円増／高度医療機器等整備補助事業など

●継続費 ▼市役所立体駐車場建設事業(7億円)

●債務負担行為 ▼北庁舎改修事業(1億4500万円)▼みのわ保育園移転建設事業(7億8000万円)▼総合斎苑空調熱源機器更新事業(1億2000万円)など

※いずれも平成28年度までの限度額

●市役所立体駐車場建設事業

**問** 駐車場不足を解消するために、立体駐車場を建設することだが、市役所と周辺施設の駐車場可能台数は。

**答** 市役所前が83台、安城公園が74台、市民会館前が35台、文化センターが62台、その他土・日・祝日などに開放可能な職員駐車場など合計869台である。調査した結果、ピーク時には292台が不足する。

■証明書コンビニ交付事業

**問** マイナンバーカードを使い、市内のコンビニで交付が可能となる証明書の種類とサービスの利用開始時期は。また、トラブルが発生した場合の対応とセキュリティ対策は。

**答** コンビニで交付する証明書は、住民票、戸籍謄本など、戸籍の附票、

印鑑証明の4種類で、平成29年の早い時期でのサービス開始を目指す。

同様のサービスを実施している自治体からは、大きなトラブルはないと聞いている。また、24時間体制で地方公共団体情報システム機構が監視をし、通信回線は自治体専用のネットワークを使用するため安全である。

■北庁舎改修事業

**問** 内容と今後のスケジュールは。

**答** 改修の内容は、庁舎フロア改修に伴う北庁舎4階などの改修並びに北庁舎のベランダ手すりなどの再塗装および外壁タイルの剥落防止対策の実施。

今後のスケジュールは、今年度中に工事を発注し、9月頃に完了する予定。

■生活保護費

**問** 医療扶助費が9500万円と大きな補正増となっている理由は。

**答** 生活保護受給世帯数や人数が増加しており、当初見込んでいた生活保護費に不足が生じる見通しとなった。特に医療扶助費については、入院件数が増加しているため。

**問** 今年度の医療扶助費の予算に対する増加状況、入院件数の増加状況は。

委員会などの主な活動状況

10月		11月		12月	
5	経済福祉部会	2	議会運営委員会	10	建設常任委員会・部会
19	健幸都市研究特別委員会		議会改革検討委員会	11	市民文教常任委員会・部会
26	総務企画部会		総務企画・市民文教合同部会	14	経済福祉常任委員会・部会
27	全員協議会	25	市民文教部会	15	総務企画常任委員会
	建設部会		議会運営委員会	16	議会運営委員会
29	低炭素社会推進特別委員会	議会改革検討委員会	議会改革検討委員会		
		26	総務企画部会		
			全員協議会		

12月定例会に提出された議案などの審議結果

◎安城創生会：16人 ◎志：3人 ◎みらいの風：3人 ◎公明党：3人  
◎共産党：2人 ◎新社会：1人

12月定例会に提出された案件	結果	会派別賛否 (○賛成、×反対、△賛否双方あり)					
		安城創生会	志	みらいの風	公明党	共産党	新社会
第76号 市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第77号 市税条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第78号 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	×	×
第79号 福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第80号 障害者扶助料支給条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第81号 介護保険条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第82号 明祥地域複合施設条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第83号 特別障害者手当等加算手当の支給に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
第84号 工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則を定める条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	○
第85号 消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第86号 消防団員等公務災害補償条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第87号 消防団条例及び非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第88号 住宅開発事業の手続等に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第89号 平成27年度一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	×	×
第90号 " 有料駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第91号 " 安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第92号 " 介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
第93号 指定管理者の指定(レジャープール)	原案可決	○	○	○	○	×	×
第94号 指定管理者の指定(歴史博物館、市民ギャラリー、埋蔵文化財センター、安祥城址公園)	原案可決	○	○	○	○	×	×
第95号 指定管理者の指定(堀内公園)	原案可決	○	○	○	○	×	×
諮問 第2号 人権擁護委員の推薦	異議ない旨答申	○	○	○	○	○	○
請願 第3号 自治基本条例検証会議の内容と結果を踏まえ、自治基本条例の改定および自治基本条例逐条解説の改定を求める請願	不採択	×	△	×	×	×	×
請願 第4号 「自治基本条例検証会議」において示された「市民の意見」に基づき、自治基本条例の改正または自治基本条例逐条解説の改定を求める請願	不採択	×	△	×	×	×	×
議員提出議案 第13号 市議会会議規則の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○

※議案名と会派名は、一部省略して記載しています。(公明党⇒公明党安城市議団、共産党⇒日本共産党安城市議員団)

一般質問のあらまし

市政全般について質問しました

今回の定例会では、11人の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、37項目の一般質問を行いました。各議員の質問と答弁を要旨で掲載します。

なお、各議員の未掲載の質問などは会議録(2月下旬予定)やインターネット録画中継でご覧になれます。

市議会のページ⇒ [安城市議会](#)



QRコードを読み取ると  
会議録アクセスできます。

少人数学級の拡大について



安城創生会  
いしかわたかふみ  
石川孝文議員

問 第8次安城市総合計画にも記載され、評価も高い小学3年生まで実施されている少人数学級を小学4年生へ拡充すべきではないか。また、実施に向けての課題は何か。

答 来年度から少人数学級を4年生まで拡大して実施したいが、教室と担当教員を確保する課題がある。

(仮称)子ども発達支援センターについて

問 図書情報館の新設に伴い現在の中央図書館にサルビア学園の通園部門や療育センターなどを集約し整備する計画だが、コンセプトや目指す支援体制は。

答 対象となる子どもの将来の自立に向けてライフステージに応じた一貫した支援体制を整え、教育、福祉、保健、医療、就労の各関係機関の連携を推進していきたい。



中央図書館が(仮称)子ども発達支援センターに

いじめ問題について



志  
かみやたかひさ  
神谷清隆議員

問 昨年度いじめ「ゼロ」と報告した小中学校は、全国で42%であったが本市の状況はどうか。

答 市内でいじめゼロの小中学校は1校、中学校ではなかった。

不登校対策について

問 教師が各々の問題について十分対処できる時間を確保するための少人数学級の拡大と、教師の多忙化を解消するためスクールアシスタント制度の導入は必要であると考えますが、小学校の少人数学級の4年生への拡大と、スクールアシスタント制度は、来年度から実施していきたい。

まちなぎ岡菊苑について

問 初代町長、初代明治用水理事長である岡田菊次郎翁のゆかりのある朝日町の岡田邸が「まちなぎ岡菊苑」としてオープンしたが、今後どのように支援していくのか。

答 まちなぎギャラリー事業としてまちなぎくり会社などが行う事業に対して現行補助制度の活用を検討したい。



子どもの脊柱側弯症について



公明党安城市議団  
そう ふみよ  
宗 文代議員

問 子どもの脊柱側弯症は、特に思春期の女子に多く発症するといわれている。学校での健康診断が有効だが早期発見のための対応とその周知方法は。

子どもの貧困について

問 学習支援事業のサタデースクールの今後の取り組みは。

答 高校進学を目標とするうえで、中学3年生の学習が大切。生活保護受給世帯に加えて、児童扶養手当全部受給世帯も中学校全学年対象に拡大することを検討する。  
また、教科も毎回国・数・英の3教科に拡大し、大学生ボランティアによる指導補助の導入も検討したい。



みらいの風  
かみやまひろ  
神谷昌宏議員

### 市税のクレジット払い運用開始

**問** 納税者へのサービスと利便性向上のため納期限内での収納が期待される新たな納税方法としてクレジット払いの導入を検討できないか。

**答** 来年度の当初課税から軽自動車税・市県民税・国民健康保険税で運用開始する。固定資産税・都市計画税については、次期評価替時の平成30年度から開始する予定。

### 公共施設等の受動喫煙防止対策

**問** さわやかマナーまちづくり条例の一環で、JR安城、名鉄新安城駅周辺を路上喫煙禁止区域に指定し、喫煙所が移転整備されたが、三河安城駅にも設置を要望する。

**答** 三河安城駅で路上喫煙禁止区域の指定に併せ、受動喫煙の防止に配慮した喫煙所の設置を検討する。

### 商業施設での期日前投票所設置

**問** 来年執行される参議院選から若者はじめ有権者に投票しやすい環境を整備する考えはないか。

**答** 他市の事例では投票率向上に一定の効果があるとされているので、今後も研究を続けていく。



共産党安城市議員団  
みやがわかねじ  
宮川金彦議員

### インフルエンザ予防接種について

**問** 本市は、高齢者のインフルエンザ予防接種費用を1500円と5割も引き上げた。碧海5市で本市だけが。高齢者は、消費税の増税や年金の引き下げで生活が厳しくなっている。昨年度、23億円も貯金を増やしているのに、なぜ、引き上げたのか。

**答** ワクチン価格の値上がりと自己負担割合を3割程度の目安としているので接種費用を引き上げた。



### TPP(環太平洋連携協定)について

**問** TPPの「大筋合意」で米、麦など重要5品目での関税撤廃などが含まれており、国会決議違反だ。本市の米、麦、牛肉はどのような影響を受けるのか。

**答** 米は米価が低迷すると大変厳しい経営状況となる。小麦も牛肉(安城和牛以外)も影響を受けることが心配される。



共産党安城市議員団  
ふかやけいこ  
深谷恵子議員

### 安心できる介護保障

#### 地域密着型サービスの整備

**問** 平成26年～28年の第6期介護保険事業計画では、在宅介護を進めるうえで前期計画の未整備4中学校区(東山、安城北、篠目、桜井)に小規模多機能(訪問・通い・泊まり)の整備が必要であるがその見通しは。

**答** 小規模多機能サービスの受入れに余裕があるため、今の計画から利用実績の高い特養ホーム、認知症高齢者グループホームなどを優先した内容に変更をした。

#### 要介護認定者の障害者控除

**問** 65歳以上の要介護認定者で、障害者控除対象者認定書の交付を受けると障害者控除を受けられる。県下では31自治体が認定書・申請書の送付を実施。本市でも実施を。

**答** 要介護認定を受けていることのみを理由に障害者控除対象者認定申請書の送付は行っていない。認定時の通知や広報などを通じ周知を図る。  
◆このほかの質問：被爆2世の実態調査と医療費助成、介護・新総合事業



安城創生会  
いしかわひろひで  
石川博英議員

### 子ども会の運営について

**問** 地域によって、単位子ども会の役員が加入率の向上に苦慮している。市としての取り組みは。

**答** 子ども会育成連絡協議会が作成する加入案内チラシに工夫をしていく。子ども会加入率は地域格差が大きく、一律的な対応だけでは難しいため、地域とともに個別的に取り組んでいく。

### 三河安城駅について

**問** 在来線の三河安城駅南側に駅前ロータリーもしくは駐車スペースを整備し、駅利用者の安全を確保する考えは。

**答** 駅利用者の安全確保のため、送迎者の停車スペースの必要性は感じている。既設歩道の一部を改良することで普通自動車であれば他の交通の支障とならず、一時停車できる幅を確保することが可能。安城警察署などと調整する。



三河安城駅南口



志  
しらやまともみ  
白山松美議員

### 市民の定義について

**問** 本市で「市民」といえば、安城市自治基本条例で市外住民や外国人およびその団体も含まれ、その人数やどこの誰か分からないとしているが、第8次総合計画(案)の対象が事業分野ごとに、市民と住民の使い分けがしてある理由は。

**答** 平易な言葉とし全般的に「市民」を使用している。

**問** 人数もどこの誰かも分からない市民を対象に、どうして総合計画の作成、予算付け、情報の提供と共有検証ができるのか。

**答** 各行政サービスを提供する場合、その都度対象者を設定し、実施しているので可能と考える。

**問** 人数も、どこの誰かも分からない市民とはいったい誰のことか。

**答** 本市で行政上一般的に使用する市民は、社会通念上言われるところの市民であり、一義的に「住民」とである。



新社会  
いしかわつげす  
石川翼議員

### 過労死等の防止対策について

**問** 市は住民への啓発を公式ウェブサイトでやっているが、過労死問題に関心を持たない人の目も引かなければならない。トップページに掲載できないか。

**答** 必要に応じ、トップページから分かりやすく、より効果的に行うよう努める。



**問** 市は毎年、愛知県と共催で労働講座を実施している。次年度は「過労死等の防止」をテーマとするよう、市から県に要望できないか。

**答** 県の意向もあるが、市の要望を示すことは可能。働きかけを行う。

**問** 過労死問題について民間団体がシンポジウムを行う場合、市は協力を行うこととされているが、どのような協力をするのか。

**答** 会場の手配、近隣自治体への情報提供など。その他、人的支援を含め要請の都度、内容を検討し可能な範囲で協力する。



安城創生会  
ふかつおさむ  
深津修議員

### 将来を見据えた財政基盤の強化と戦略について

**問** 5年後に超高齢社会、10年後には生産年齢人口がピークを向えるが、市民福祉の向上を目的とした財源確保施策やその戦略は。

**答** 住宅市街地整備や地元産業の振興など、様々な施策を実施する。

### たばこ税および受動喫煙対策について

**問** 次期総合計画で「健康都市」を目指すに当たり、市として思いきった受動喫煙対策を講じ全国に類を見ない「空気のきれいな住みよいまちづくり」をすべきだと考えるがどうか。

**答** 県との連携や商工会議所・観光協会に働きかけ対策強化を図る。



◆このほかの質問：第7次総合計画の検証、「安城市水源基金」設置による水源確保、電力自由化への対応、機能別消防団員の役割、青年団の活性化、優良農地の保全と農業振興体制の強化、野鳥や野犬・野良猫対策と市役所窓口の一元化など



安城創生会  
おがわじゅんじろ  
小川浩二郎議員

### 区画整理区域外の道路整備について

**問** 市内の区画整理事業で幹線道路として整備した道路が区画整理区域を外れると、車のすれ違いが困難な細い道路が未整備となっており、かつ危険な交差点などが数多くある。通勤時間帯には交通量が多く危険なため、区域内の小中学校の通学路は安全な道路へ迂回し遠回りして確保しているが、未整備の道路の整備計画はあるのか。

**答** 土地区画整理事業の区域外では、未整備のため、道路の不整合が市内に複数あります。土地区画整理事業の区域外では、道路幅を広げるための用地買収や補償をする必要があり、現在整備予定はないが、道路の整合を図る必要があると考えている。



梨の里小付近の道路状況

議会運営委員会  
[9月30日～10月2日]



亀山市での調査風景

◆鳥根県出雲市

『議会でのタブレット端末活用について』  
利便性向上による審議の深化・活性化を主目的とし、会議などでのペーパーレス化による経費削減は副次的なものとして捉えている。そのためか活用度合いに議員間で格差が生じ、解決すべき課題であるとの説明があった。

◆大阪府堺市  
『議会改革の取り組みについて』  
議会基本条例の制定前に設置した議会力向上会議が中心となって条例案の検討と議会改革を進め、政令指定都市にもかかわらず議会報告会を

本市もタブレットを導入するが、操作研修の開催や事務局職員のサポート以外に、議員間の相互支援体制を充実することで、活用度合いに格差が生じないよう努めていきたい。

過去4回実施している。市民との意見交換を重視し、常任委員会単位の分科会方式を取り入れていくとの説明があった。

◆三重県亀山市

『議会広報広聴の取り組みについて』  
市民への情報発信を重視するため、地元ケーブルテレビの放送枠を活用し、手作りの強い議会番組を作成し放送している。

低炭素社会推進特別委員会  
[10月21日～23日]



北九州次世代エネルギーパークでの調査風景

◆福岡県北九州市 北九州次世代エネルギーパーク

『北九州次世代エネルギーパークについて』  
暮らしを支えるエネルギーの供給基地、太陽光・風力などの自然エネルギーのほか、革新技術の研究などの取り組みを視察した。自然エネルギーを活用した工業団地の造成や市民太陽光発電所の建設などの研究を進めていく。

◆福岡県みやま市

『みやまHEMSプロジェクトについて』  
自治体初の電力事業、市民や商店と一体となったサービス事業など地方創生につながる先導的モデルとして2015年度グッドデザイン賞・100に選ばれた。電力事業は赤字事業が多いが、電気の小売り自由化を迎えるにあたり、発電した電力を有効的に使う方法の研究を進めていく。

◆九州大学水素エネルギー国際研究センター

『福岡水素戦略について』  
産学民連携組織により推進するプロジェクトを調査し、環境に良く、熱効率が高い水素を利用した水素エネルギーの可能性が良く分かった。本市に水素ガスステーションが設置される予定であるため、水素の利用が広がり、特に家庭燃料電池「エネファーム」の普及も期待したいと感じた。

まちづくり特別委員会  
[10月21日～23日]



狭山市での調査風景

◆埼玉県狭山市

『狭山市駅西口地区再開発事業について』  
交通連結点機能を高めながら、機能的で広い駅前広場と公共駐車場・駐輪場、安全な幅広い都市計画道路を整備し、高低差を生かした開放的な質の高い公共空間を創出していた。本市の主要駅周辺、自由通路、駅舎の橋上化などの整備を考える参考となった。

◆宮城県気仙沼市

『赤岩港エコ水産加工団地プロジェクトについて』  
電力を大量に消費する水産団地において、電力の必要量の予測・管理する工場エネルギーシステム(FEMS)と、団地全体のエネルギーを統合制御する地域エネルギー管理システム(CEMS)を導入し、地域全体で節電と電力料金の低減を図っていた。

◆静岡県富士市  
『富士市産業交流展示場(ふじさんめっせ)について』  
優良企業の誘致、市内企業の活動促進などを図るための多目的展示場として、周辺の区画整理に合わせて建設。立地条件も良く、稼働率も高いため良好な運営が成り立っている。

特別委員会の活動内容

◆低炭素社会推進特別委員会  
本委員会のキーワードとして①「エネルギー」創蓄省エネルギーの推進ははじめ8項目、②「都市交通」環境負荷の小さい低炭素都市交通システムをはじめ2項目を掲げ、調査研究を進めることとした。

◆まちづくり特別委員会  
本委員会の研究テーマを①主要駅周辺の再整備の推進、②工業用地の整備・拡大、③平成39年のリニアインパクトをどう捉えるか、に絞り調査研究を進めることとした。



エコフルタウン視察

健幸都市研究特別委員会  
[11月4日～6日]



浦安市での調査風景

◆新潟県三条市

『SWC総合特区、健幸マイレージ、三条マルシェについて』

自然と歩く生活を基本に①暮らしの場の維持、②にぎわいの場の再生、③生きがい・就労の場の創出を柱としまちづくりを進めている。健幸マイレージでは、生きがい・就労の場の創出を目的としたボランティアポイントやスタンプラリーの実施にぎわいの場の再生として、外出機会が少なくなりがちな高齢者が気楽に立ち寄れる交流の場をオープンするなど本市の施策の参考となった。

◆新潟県長岡市

『多世代健康まちづくり、タニタカフェについて』

高齢者や介護認定者の割合が高い長岡市は、自発的な健康づくりの機運が高まり、健康な生活習慣を幼少から身につけ、多世代にわたる生活習慣病のリスクを軽減し、介護予防、健康寿命の延伸を図ることをコンセプトに事業を展開している。また、タニタカフェでは、独自の店舗づくりは参考となったが、採算性については課題が見受けられ、運営管理の大変さを感じた。



タニタカフェ

◆千葉県浦安市

『健幸まちづくり、健幸ポイントについて』

民間と大学チームと浦安市が連携し、健康づくりに無関心層を含めた多数の市民の健康づくりを誘引するインセンティブ制度の確立を目指しプロジェクトを進めている。健康に関心が高い人が多くを占めていることから、本市の施策においても、いかに健康無関心層にとって有効な取り組みを行うかが重要であると感じた。

市議会だより編集委員会  
[11月12日～13日]



廿日市市での調査風景

『市議会だより編集方法について』  
リニエール号において、表紙写真を公募したことや紙面の編集内容雑誌帳などが評価され、議会報コンクールにて審査員特別賞を受賞している。全面カラー刷りでの良さを生かし、色使いの工夫がされ、大変読みやすい紙面であった。安価にカラー刷りできる方法を研究していきたい。

◆広島県廿日市市

編集委員の任期が基本4年ということで、継続的に編集に携わることでも市民に興味を引き、読んでもらえる紙面構成ができていと感じた。審議結果だけでなく賛否に至った議員の考えを掲載することは非常に参考になった。本市議会だよりも市民に議会をより身近に感じてもらえるよう、紙面構成に工夫をしていく。

実施中の名鉄知立駅を調査した。本市のまちづくりの施策に生かしていきたい。

### ◆健康都市研究特別委員会

本委員会の研究テーマを①歩きたくなるまちづくりの推進、②健康意識するヘルスリテラシーの向上、③健康づくりを持続するインセンティブ制度づくり、④外出機会をふやす社会参加の促進とし、調査研究を進めることとした。



榊タニタ勉強会の様子

「食」を通じて健康づくりを実現のある榊タニタの部長を招き、「タニタが仕掛けるニッポン健康化計画」と題し勉強会を開催し、民間企業からみた自治体との協働の意義について学んだ。健康無関心層の行動変容につながる施策について有効な取り組みの構築が必要と認識した。

### 海外行政調査報告

●調査日 11月1日～11月8日  
●調査目的 世界から注目されている子育て支援「ネウボラ」、小学校で

のICTの活用状況、公立図書館サービス事情などフィンランドの先進事例を調査するため。

### ●報告者(派遣議員)



杉浦秀昭議員



辻山秀文議員

### ■世界から注目されるフィンランドの子育て支援「ネウボラ」

「ネウボラ」とは、フィンランド語で「アドバイスを受ける場所」という意味がある。妊娠前から就学前までの子ども・家族を対象とした支援制度で、産前・産後・子育ての切れ目のない支援を無償で同じ保健師による継続的なサポートが特長的である。また、ネウボラのサービスの一つに母親手当制度があり、育児パッケージかお金を選ぶことができる。育児パッケージには、ベビー服、絵本、おもちゃや寝具類など、約50点の品物が入っており、現金で購入するより3倍相当の育児用品が揃っている。安心して出産・子育てできる環境整備のために、ネウボラは参考となる点が多くあった。



育児パッケージ

### 全議員研修会

12月21日、笑い体操管理士河村聡枝氏を招き、「笑いと脳トレで健康寿命延伸!!」と題し、研修会を開催しました。

本市が現在策定中の第8次総合計画の目指す都市像「幸せつながる健康都市・安城」に向け、今注目の「笑う健康法」を体験し、笑って元気、笑って人間関係が楽になるなど、日常生活において簡単であり意外と忘れがちな笑いの良さ・必要性について学びました。

参加者からは、参加型で、健康に関するテーマということもあり、「興味もあったので楽しく受講できた」、「受講して、健康になれる気がした」との意見がありました。



研修会の様子

### 議長諮問事項に対する答申

#### 『議会ICT推進計画について』

11月25日に、議会改革検討委員会から議長に答申しました。



答申を受け、早川議長から神谷市長へ報告

#### ●答申内容

議会ICT推進プロジェクトチームが中心となって作成した「安城市議会ICT推進基本計画」を議会改革検討委員会として承認決定した。計画内容を適切に実施し、タブレット端末の導入をはじめ、議会のICT環境を整備し、スケジューリングの管理および連絡・周知方法の円滑化や資料のペーパーレス化など技術の進展に対応していくよう努めること。



3月からタブレットを使用した議会運営を進めます。

### ■小学校でのICTの活用状況

タンペレ市のビレルカルリオ小学校は、400人の生徒を38人の教師が教え、高いレベルの教育を行う学校として、世界で80校に選ばれているなど、ICT教育に関しては、トップクラスのモデル校であった。

その背景にあるのが、校長先生のリーダーシップと権限であり、人事権や学校運営にかかる予算を校長先生の裁量により、ある程度自由に使うことができる。そのため、教室には大型テレビ、プロジェクターが設置され、タブレットも1人1台利用できる環境が整備されていた。ICTだけに特化した授業は行われておらず、音楽の授業では大型テレビに英語の歌詞を写し、歌いながら自然に英語が学べる授業が行われていた。



教室に設置された大型テレビ

### ■ヘルシンキ図書館サービス事情

フィンランド国民は読書好きで、世界で最も本を多く読むと言われ、年間1人当たり平均で21冊を借り、日本の4倍と言われている。そのためヘルシンキには図書館が37カ所あり、約62万人をカバーし利用者へのサービス向上のためにパソコンや読

書スペースが充実している。駅前スパーの2階に図書館があり、「買い物ついでに図書館を利用」、「図書館を利用したついでに買い物」が誰でも気軽にできる。市民サービス向上のために、市民の意見を取り入れ3Dプリンターなどの機器も整備され、参考になった。ICT環境整備は本市よりも整っていると感じた。



ヘルシンキ中央図書館

### ■行政調査を振り返って

フィンランドの消費税率は24%と日本に比べ高い税率であるが、その分、社会福祉制度が整っていた。社会福祉の各種サービスに関する決定は国がガイドラインを示し、運営の詳細は各自自治体に任されている点は、地方主権が進んでおり、地域にあったスピード感ある取り組みが行えると感じた。

ネウボラ、小学校でのICTの活用、図書館サービスはそのまま本市に導入することは難しいが、考え方や取り組み姿勢などで参考となる点も多くあり、今後の安城市の市政運営に生かしていきたい。  
※報告書の詳細は、市公式ウェブサイト「市議会のページ」の「行政調査報告書」からご覧いただけます。

### さわやかマナーまちづくり条例の啓発活動

今年度2回目となるさわやかマナーまちづくり条例のPRのため、



啓発活動の様子

12月22日、安城コロナワールド、でんまあと安城西部、アピタ安城南店、アンデイにおいて実施しました。店舗の来客者に向け、「たばこのポイ捨て・歩きスマホはやめよう!」「ペットのふんは持ち帰りましょう!」と、きれいで快適なまちを目指し呼びかけました。



啓発活動の様子

### 交通安全PR活動 [12月10日]



市議会議員が、交通安全協会と協力し、JR安城駅で行われた「交通事故ゼロ・飲酒運転根絶キャンペーン」に参加しました。のぼり旗を掲げるとともに、行き交う人たちに、山崎製パン(株)安城工場提供のドーナツを「交通事故ゼロドーナツ」と称して手渡し、飲酒運転根絶と交通事故防止を呼びかけました。



## 議会を傍聴してみませんか？

議会では、市民の皆さんの身近な問題や施策提案などが取り上げられます。録画中継では感じ取ることができない、議場内の雰囲気、議員の様子が分かります。



本会議の傍聴は、北庁舎7階です。

受付では、氏名と住所を書くだけ！



職員が受付で対応いたします。



入室時の注意事項

携帯・スマホは電源を切って！

議場傍聴席へ



本会議場

### 3月定例会の開催予定

3月2日(水) 開会・市長施政方針	→	4日(金) 午前7時・正午 午後4時
3日(木) 代表質問	→	11日(金) 午後6時
7日(月) 代表・一般質問	→	17日(木) 午後6時
8日(火) 一般質問	→	22日(火) 午後6時
10日(木) 議案質疑		
11日(金) 市民文教常任委員会		
14日(月) 建設常任委員会		
15日(火) 経済福祉常任委員会		
16日(水) 総務企画常任委員会		
23日(水) 閉会		

### KATCH放映

キャッチネットワーク106チャンネルで録画放映されます。

- ・開催時刻はいずれも午前10時の予定です。
- ・請願・陳情提出締切りは、2月22日(月)です。

### 表紙の紹介



1月3日(毎年同日)、今年も絶好のマラソン日和のもと新春矢作川マラソン大会が桜井中央公園をスタート・ゴールとして開催されました。ハーフマラソン・10kmマラソン・3kmのジョグ&ウォークの3種目に、全国各地から2,664

人が参加しました。各種目とも豊富なクラス設定がされ、参加しやすい大会として人気があります。来年、あなたもこのスタートラインに立ってみてはいかがでしょうか。

【発行者】安城市議会 【編集者】市議会だより編集委員会 【問い合わせ】安城市議会事務局  
〒446-8501 安城市桜町18-23 / Tel.0566-71-2252 / Fax.0566-77-8200  
Eメール：giji@city.anjo.aichi.jp